

# 日本史

I 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

1185年、平氏の滅亡後、源頼朝は源義経と対立するようになった。源義経は後白河法皇から源頼朝追討令を与えられ挙兵したが、失敗した。源頼朝は軍勢を京都に送って後白河法皇にせまり、源義経追討を名目として(A)守護や地頭を任命する権利などを獲得した。こうして東国を中心にした源頼朝の支配権は西国にもおよびはじめ、鎌倉幕府が確立した。その後、源頼朝は、1192年、1に任じられた。鎌倉幕府の支配機構として、鎌倉には侍所、政所、(B)問注所などがおかれた。幕府政治は源頼朝が将軍独裁の体制で運営していたが、源頼朝の死後は北条氏が勢力をのばしていった。

朝廷では、幕府の成立と勢力拡大に直面して、政治の立直しがおこなわれた。(C)後鳥羽上皇は、分散していた数多くの皇室領の荘園を手中におさめるとともに、新たに2をおいて軍事力の増強をはかるなどして院政を強化した。そのなかで、1221年、後鳥羽上皇は、2代執権北条義時を追討するための兵をあげた。しかし、上皇方の期待に反して、東国武士は北条政子の呼びかけに応じて幕府側に結集したため、幕府側の圧倒的な勝利に終わった。これが3である。3の後、幕府は、4をおいて、朝廷を監視し、京都の内外の警備、および西国の統括に当たさせた。

北条政子の死後、3代執権北条泰時は、執権を補佐する5をおいて北条氏一門の有力者をこれに当てた。1232年、北条泰時は御成敗式目(貞永式目)51カ条を制定した。

日本は宋とのあいだに正式な国交を開かなかったが、民間商人の貿易や僧侶の往来などはさかにおこなわれた。13世紀初め、チンギス=ハンがモンゴル諸部族を統合して中央アジアから南ロシアまでを征服した。その後継者はヨーロッパ遠征をおこない、また金を減ぼしてユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国を建設した。チンギス=ハンの孫フビライ=ハンは、中国を支配するため大都(北京)に遷都し、国号を6と定めた。6は高麗を全面的に服属させると、日本に対しても強く朝貢を要求してきた。しかし、8代執権7がこれを拒否したため、(D)2度にわたって日本に襲来した。

鎌倉時代は、公家が文化の担い手となって伝統文化を受け継ぎながらも、一方では、武士や庶民に支持された新しい文化が生まれ、しだいに成長していった。仏教では、法然が専修念仏の教えを説いて、のちに8の開祖と仰がれた。文学の分野では、戦いを題材に武士の活躍ぶりを描き出した(E)軍記物語がある。鎌倉の武士たちも内外の文化や学問に関心をもつようになり、(F)鎌倉幕府の歴史を編年体で記した史書も編まれた。美術の分野でも新しい傾向がおこった。重源は、宋人陳和卿の協力を得て東大寺の再建に当たった。その時に採用されたのが、大陸的な雄大さ、豪放な力強さを特徴とする9の建築様式であった。

- 問1 文中の空欄 **1** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 摂政                      ② 関白                      ③ 征夷大將軍                      ④ 太政大臣
- 問2 文中の空欄 **2** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 追捕使                      ② 北面の武士                      ③ 押領使                      ④ 西面の武士
- 問3 文中の空欄 **3** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 保元の乱                      ② 平治の乱                      ③ 承久の乱                      ④ 治承・寿永の乱
- 問4 文中の空欄 **4** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 長門探題                      ② 六波羅探題                      ③ 羽州探題                      ④ 鎮西探題
- 問5 文中の空欄 **5** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 引付衆                      ② 連署                      ③ 管領                      ④ 奉公衆
- 問6 文中の空欄 **6** に入る国名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 隋                      ② 唐                      ③ 元                      ④ 明
- 問7 文中の空欄 **7** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 北条時政                      ② 北条時頼                      ③ 北条貞時                      ④ 北条時宗
- 問8 文中の空欄 **8** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 時宗                      ② 浄土宗                      ③ 臨濟宗                      ④ 浄土真宗
- 問9 文中の空欄 **9** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 大仏様                      ② 禅宗様                      ③ 和様                      ④ 折衷様
- 問10 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **10** にマークしなさい。  
① 原則として各国に1人ずつ、おもに東国出身の有力御家人が任命された。  
② 年貢の徴収・納入と土地の管理などを任務とした。  
③ 東国では国衙の在庁官人を支配し、地方行政官としての役割を果たした。  
④ 軍事指揮官として国内の御家人を指揮して、警察権の行使に当たった。

問11 下線部(B)の職務内容として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **11** にマークしなさい。

- ① 御家人を組織し統制する。                      ② 一般政務をつかさどる。  
③ 財政事務をつかさどる。                      ④ 裁判事務を担当する。

問12 下線部(C)が編纂を命じ、技巧的な表現を特徴とする和歌集を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **12** にマークしなさい。

- ① 『千載和歌集』    ② 『古今和歌集』    ③ 『金槐和歌集』    ④ 『新古今和歌集』

問13 下線部(D)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **13** にマークしなさい。

- ① 最初の襲来を文永の役、2度目の襲来を弘安の役という。  
② 最初の襲来後、九州北部の要地を警備する異国警固番役を強化した。  
③ 幕府は多大な犠牲を払った御家人に対して十分な恩賞を与えた。  
④ 敵軍が「てつほう」と呼ばれる武器を使用した様子が絵巻に残されている。

問14 下線部(E)について、琵琶法師によって平曲として語られた作品として正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **14** にマークしなさい。

- ① 『平家物語』    ② 『将門記』    ③ 『平治物語』    ④ 『源平盛衰記』

問15 下線部(F)に該当するものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **15** にマークしなさい。

- ① 『大鏡』    ② 『今鏡』    ③ 『増鏡』    ④ 『吾妻鏡』

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

17世紀後半、政治の安定と経済の発展とを背景に江戸幕府の5代将軍となった[16]は、武家諸法度(天和令)を出し、武士に、主君に対する忠と父祖に対する孝、礼儀による秩序を第一に要求した。この時代を[17]時代とも呼ぶ。また、この時代には湯島聖堂が建てられ、[18]が重視された。その後6代将軍徳川家宣は、朱子学者の[19]らと政治の刷新をはかろうとしたが、在職3年余りで死去した。

17世紀後半以降の1世紀のあいだに、小規模な経営を基礎とする農業や手工業を中心に、生産力は著しく発展した。(A)江戸・(B)京都・大坂の三都を中心に全国を結ぶ陸上・水上の交通網が整えられ、東海道をはじめとする(C)五街道は、幹線道路として幕府の直轄下におかれ、脇街道と呼ばれる主要な道路が全国で整備された。全国市場が確立し、海運が活発になると、(D)江戸の十組問屋や大坂の二十四組問屋のように、多様な職種からなる問屋仲間の連合組織がつくられ、三井家のように両替商を兼ね、三都や各地の城下町などに出店をもつ者も現れた。

三都のなかでも「天下の台所」ともいわれる大坂は、西日本を中心に全国の物資の集散地として栄えた大商業都市であった。西日本や日本海側の諸藩は[20]を大坂において、領内の年貢米や特産物である蔵物を蔵元・掛屋と呼ばれる商人を通じて販売し、貨幣の獲得につとめた。

測量や商売取引などの必要から和算が発達し、[21]は筆算代数式とその計算法や円周率計算などですぐれた研究をおこなった。その他の自然科学では、本草学(博物学)や農業・医学など実用的な学問が発達し、[22]の『大和本草』、宮崎安貞の『[23]』などが広く利用された。文学の世界では、[24]が『好色一代男』や『日本永代蔵』で、現実の世相や風俗を背景に、人々が愛欲や金銭に執着しながら、みずからの才覚で生き抜く姿を描いた。また、さび・かるみで示される幽玄閑寂の俳諧を確立した[25]は、自然と人間を鋭くみつめて、『奥の細道』などの紀行文を著した。美術の世界では、[26]が浮世絵の版画を始め、美人・役者などに画題を求めて都市の風俗を描き、安価に入手できることもあって、大きな人気を得た。

- 問1 文中の空欄 **16** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 徳川家光            ② 徳川家綱            ③ 徳川綱吉            ④ 徳川家継
- 問2 文中の空欄 **17** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 元禄            ② 享保            ③ 寛政            ④ 天保
- 問3 文中の空欄 **18** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① キリスト教            ② 仏教            ③ 儒教            ④ 神道
- 問4 文中の空欄 **19** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 林羅山            ② 荻生徂徠            ③ 伊藤仁斎            ④ 新井白石
- 問5 文中の空欄 **20** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 唐人屋敷            ② 上屋敷            ③ 下屋敷            ④ 蔵屋敷
- 問6 文中の空欄 **21** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 北村季吟            ② 吉田光由            ③ 関孝和            ④ 渋川春海
- 問7 文中の空欄 **22** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 熊沢蕃山            ② 貝原益軒            ③ 室鳩巢            ④ 山鹿素行
- 問8 文中の空欄 **23** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 農具便利論            ② 農業全書            ③ 広益国産考            ④ 製油録
- 問9 文中の空欄 **24** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 竹本義太夫            ② 近松門左衛門            ③ 蔦屋重三郎            ④ 井原西鶴
- 問10 文中の空欄 **25** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 西山宗因            ② 与謝蕪村            ③ 小林一茶            ④ 松尾芭蕉
- 問11 文中の空欄 **26** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。  
① 菱川師宣            ② 東洲斎写楽            ③ 歌川広重            ④ 喜多川歌麿

問12 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **27** にマークしなさい。

- ① 「将軍のお膝元」と呼ばれた。
- ② 公家の屋敷が集中した。
- ③ 様々な種類の商人・職人や日用(日雇)らが集まった。
- ④ 日本最大の消費都市となった。

問13 下線部(B)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **28** にマークしなさい。

- ① 西陣織などの手工業生産が発達した。
- ② 幕府はヨーロッパの文物を輸入する窓口とした。
- ③ 幕府は全国の寺社や宗教を統制するために重視した。
- ④ 呉服屋・両替商など大商人の本拠が多く存在した。

問14 下線部(C)について、該当しないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **29** にマークしなさい。

- ① 中山道                      ② 奥州道中                      ③ 北国街道                      ④ 日光道中

問15 下線部(D)が目指したものとして誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **30** にマークしなさい。

- ① 物価の引下げ    ② 荷物運送の安全
- ③ 海損の共同保障    ④ 流通の独占

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

【A】

連合国軍最高司令官総司令部 (GHQ) は、日本経済の後進性を象徴する財閥・**31** が軍国主義の温床になったとみて、それらの解体を経済民主化の中心課題とした。1945 (昭和 20) 年 11 月に、<sup>(A)</sup> 4 大財閥の解体が命じられ、その後 2 年間にわたって、いわゆる<sup>(B)</sup>財閥解体がおこなわれた。そして、GHQ は農民層の窮乏が日本の対外侵略の重要な動機となったとして、日本政府に<sup>(C)</sup> 農地改革の実施を求め、1945 (昭和 20) 年に 1 次、翌 1946 (昭和 21) 年に 2 次の改革が開始された。さらに労働政策では、低賃金構造にもとづく国内市場の狭さを解消して対外侵略の動機を除去する観点から<sup>(D)</sup> 労働三法が制定された。また<sup>(E)</sup> 教育制度の自由主義的改革も、民主化の重要な柱の 1 つであった。

戦争によって国民の生活は徹底的に破壊された。極度の物不足に加えて、終戦処理などで通貨が増発されたことにより、猛烈なインフレーションが発生したため、1946 (昭和 21) 年 2 月、**32** 内閣は<sup>(F)</sup> 金融緊急措置令を出した。思想や言論に対しては、国家の抑圧が取り除かれ、従来の価値観・権威は大きく否定された。かわって、個人の解放・民主化という新しい理念が占領軍の手で広められた。出版界は活気づき、<sup>(G)</sup> 数多くの新聞や雑誌が創刊され、民主化を促進した。また、<sup>(H)</sup> さまざまな学問分野において学生・知識人に大きな影響をおよぼした。

【B】

1980 年代には日本の対米貿易黒字が激増したため、アメリカは自動車などの輸出自主規制を日本に求め、農産物の輸入自由化をせまった。政府は、1988 (昭和 63) 年に牛肉・**33** の輸入自由化を決定し、1991 (平成 3) 年に実施した。また、急速な経済発展をとげた新興工業経済地域 (NIES) の中で、とくにアジアの韓国・台湾・香港・**34** は、外国の資本や技術を導入し、輸出指向型の工業化を進めて経済成長を続け、アジア NIES と呼ばれた。

1985 (昭和 60) 年にはドル高の是正に関する**35** がなされ、円高は一気に加速し、輸出産業を中心に不況が深刻化した。しかし、<sup>(I)</sup> 1987 (昭和 62) 年半ばから内需に主導されて景気が回復した。1990 年代に入ると、1980 年代後半の<sup>(J)</sup> 「バブル経済」は一挙に崩壊した。1990 (平成 2) 年の初めから株価が急激に下がり、1991 (平成 3) 年には景気の後退が始まった。



問8 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **38** にマークしなさい。

- ① 改正農地調整法・自作農創設特別措置法によって在村地主の貸付地のうち、一定面積を超える分を国が強制的に買い上げた。
- ② 第2次農地改革における農民委員会の委員は、市町村ごとに地主3・自作農2・小作農5の割合で選ばれた。
- ③ 安定した小作農経営を大量に創出するためにおこなわれた。
- ④ 全農地の半分近くを占めていた小作地が1割程度まで減少した。

問9 下線部(D)に該当しないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **39** にマークしなさい。

- ① 労働争議調停法
- ② 労働組合法
- ③ 労働関係調整法
- ④ 労働基準法

問10 下線部(E)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **40** にマークしなさい。

- ① 修身・国語の授業が一時禁止された。
- ② 教育の機会均等や男女共学の原則をうたった教育基本法が制定された。
- ③ 大学が大幅に増設され、女子学生も増加した。
- ④ 教育行政の地方分権化がはかられた。

問11 下線部(F)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **41** にマークしなさい。

- ① 旧円の流通を禁じた。
- ② 効果は一時的であった。
- ③ 貨幣流通量を減らそうとした。
- ④ 経済安定九原則を実行した。

問12 下線部(G)に該当するものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **42** にマークしなさい。

- ① 『週刊朝日』
- ② 『世界』
- ③ 『改造』
- ④ 『中央公論』

